

ゴーヘッドス 速報

Goaheads

第10号 平成25年5月26日

いきなり見せた昌平マルチ!!!

チーム一丸元気良く初戦突破!!!

	1	2	3	4	5	6	7	R
J	0	0	0	0	0	1		1
G	0	1	2	1	1	×		5



5/26(日)待ちわびた区民大会の初戦を迎えた。相手はJINDAI、絶対に負けられない初戦が達脇の投球でレベルアップとなった。前節は四球が多く、ゲームを作れなかったのが、今日の投球にチーム一同注目した。その彼の入りは変化球でストライク、この初級ストライクの安心感は私だけでは無いはず。その後2-3まで粘られたが、結果中飛に打ち取り先頭を抑えた。続く二打者も凡打に斬り、初回をゼロ封進とした。ゲームが動いたのは、二回の我がチームの攻撃、この回先頭の昌平が懸命な走り内野安打で出塁、その後二盗を決める。後続の梶原は四球を選択し出塁、早くもスコアリングポジションに走者を進めた。次打者緑川の場面でWPにより、走者が共に進塁し、無死二・三塁と絶好の得点シーン、ここで緑が4球目をきっちり叩き、この間に三塁より昌平がホームインし先制した。達脇は3回まで走者を出さない完璧な投球を続ける。その裏の攻撃でまたもや動きがあった。この回先頭の哲也が中越安打で出塁、内外の連携のミスの一挙二塁へ、二番智は絶妙なセーフティで出塁、この処理の間に哲也が一挙ホームインし二点目。続く三番光希の時に智が二盗を決め無死二塁、光希の遊ゴロの間に智が三塁に進塁、そして、四番昌平の遊ゴロの間に智がホームインし、三点目を上げた。四回まで好投していた達脇だが、この回先頭打者に初級をセンターに運ばれ今日初めての出塁を許した。続く打者を二ゴロに打ち取ったが、この打球を走者が体に当てたが、塁審のジャッジは当たってないと判断され、無死一・二塁とピンチと化した。次打者に5球粘られ次の6球目は三遊間に飛んだ早い打球、この打球をショート光希が素早く反応し、二塁に送球しホースアウトで一死を得る。が、依然、一死一・三塁とピンチは続く。後続を三飛に打ち取り二死としたが、次打者に無念の今日初の四球を与え、二死満塁とした。しびれる場面であったが、達脇は気持ちで乗り切り投ゴロに打ち取り、三者を残塁とさせた。ピンチの後にはチャンスが訪れ、この回先頭の祐太朗が中前安打で出塁、その後二盗を決め無死二塁、次打者は倒れたが、9番達脇の三球目は詰まった三塁ゴロ、これを野手が送球エラーを起こす。この間に躊躇なく、祐太朗がホームインし、4点目を上げ勝利をぐっと引き寄せた。更に翌5回にも1点を追加し、5:0で最終回の6回表の守備に入った。相手チームの打順は一番からの好打順、しかし先頭を三ゴロで一死、続く打者は空三振に斬り二死、しかし、三番打者に初級を中越の2ベースを打たれ二死二塁、続く打者はサードが一番処理しにくいバウンドの打球を放つ。捕球に勝負をかけたが、残念ながら捕球出来ず、これをカバーリングした光希が一塁に懸命な送球をしたが、惜しくも一塁が捕球出来ずこの間にホームインされ、1点を失点した。しかし、ここでも崩れる事なく、次打者を二ゴロに斬り、見事初戦突破を果たした。今日のゲームは、やはり投手がゲームを作れた事が一番の勝因。さらには、特段の守備の乱れが無かった。中でもライトの泉は再三飛んできた打球をしっかり捕球し、守備で貢献した。そして打撃、いつもは無安打で失点するシーンを演出されてしまうが、今日の得点シーンは全てのその逆で、適時打無での得点は、多い収穫である。打ち上げ凡打は初回のみというのも、いかに叩く意識が今日のゲームで意識づいていたかがこれでわかる。さー目指そう、この勢いで我々が目指す場所へ!